

(様式1) 補助金等シート
(1) 補助内容

こども家庭支援課-1
R 7 年度予算用

1	名称 (予算事業名)		児童養護施設退所者等自立支援金									
			予算事業名	児童虐待・DV対策等総合支援事業費								
			予算事業コード	00308								
2	交付開始年度	令和	2	年度	創設から	6	年度目	3	終期	令和	8	年度
4	分類	事業費補助					5	所属	こども家庭支援課			
6	根拠法令	鈴鹿市児童養護施設等退所者自立支援金交付要領										
7	事業の目的・概要	篤志家の寄附に基づいて設置された子ども未来基金から、児童福祉法（昭和22年法律第164号）に規定する児童養護施設等を18歳または措置延長後の20歳で退所する者で、その後の自立に向け、その費用の支弁が困難であると認められるものに支援金を交付し、将来の自立に結びつけることを目的とする。										
8	補助対象者	児童養護施設等退所者										
	交付先（補助対象者と異なる場合）											
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)		
				市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他					
		R4年度決算額	100	100	0	0	0	100.0%	0	0.0%		
		R5年度決算額	300	300	0	0	0	100.0%	0	0.0%		
		R6年度当初予算額 R7年度予算要求額	100 400	100 400	0 0	0 0	0 0	100.0% 100.0%				
10	補助対象事業費の内訳 (具体的に記載)	児童養護施設等を退所し、自立をするための費用を支援するための支援金。										
	補助金等の算出根拠 (具体的に記載)	鈴鹿市児童養護施設等退所者自立支援金交付要領による。										
	増減理由	補助対象者が増えたため。										

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5	児童養護施設退所者が自立するために、寄附のあった子ども未来基金をもとに寄付者の意向も考え、実施している事業である。		
		(減点) 0			
	公平性	5	市内児童養護施設の退所者等に対し、支援金を交付する。		
	効果性	5	【評価の理由】 支援金を交付することで、退所者等の自立のために役立っている。		
【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況（具体的に記載）】 児童養護施設退所者に対する唯一の支援策					
透明性	5	計画に沿って事業を実施。			
	(減点) 0				

(3) 終期延長の理由（終期を延長した初年度のみ記入）

前回終期 令和 年度

--